



# 認め合い ともに伸びよう

鴨島東中学校 第1学年便り 令和7年2月5日発行



## 一日一日、自分をつくろう

第1学年もあと2か月になりました。1月、新しい気持ちで再スタートを切りました。「中学校に入学してから頑張ってきた。」と自分を褒めることができる自分を、3学期も、一日一日つくっていきましょう。

それに、今の学級で過ごすのもあと2か月。友達や学級を大切にしながら、「この学級で友達と出会えてよかった。この学級が好きだ。」と言える学級を完成させてほしいと思います。

第3学期の学級役員は、次のように選出されています。

- |            |         |          |         |
|------------|---------|----------|---------|
| 1組 (学級委員長) | 近久 明紗さん | (学級副委員長) | 森住 美桜さん |
| 2組 (学級委員長) | 八巻 萌奈さん | (学級副委員長) | 山本 裕大さん |



検索 新\_鴨島東中HP

## 希望の進路に向けて

1月16日(木)、三木先生から高校入試制度について説明を聞き、進路に向けて一人一人が今すべきことを考える時間を持ちました。希望の進路に進むために、基礎・基本となる確かな学力が身に付くように勉強することはもちろん、普段の学校生活が大きく反映されることを確認しました。



○入試の現実について話を聴くと、とても不安だ。私は志望校がまだ決まっていないので、考えていきたい。私はおそらく一般選抜を受けると思うので、勉強を今こつこつ頑張っていこうと思う。

○僕が受検するとき学区がどうなるかわからないから、勉強しておいた方がいいと思った。

○2年後に備えて基礎を理解し、難しい応用問題も解けるようにしていきたい。

○高校入試について知ることができてよかったけれど、本当に勉強を頑張っていかなければ、受かる確率がとても低いことになりかけた。

## 福祉体験～障がい者と「共に」歩む～

3学期、人権学習で「共に歩む」(福井達雨著)という資料を通して、障がい者差別について学習しました。人は「かわいそう」と哀れみ合うのではなく、大切な一人の人間として尊重し合うということや、困っている人を見かけたら声をかけて手を貸すことなど、「共に生きる」ことについて考えてきました。

1月31日(金)、吉野川市社会福祉協議会から4名の方を講師に迎え、車椅子体験を行いました。アイマスク体験も行い、障がい者の介助の仕方を具体的に学び、体験することによって、実際に見かけたとき手助けをすることができる行動力を養いました。

○「共に歩む」を学習して、障がいがある人に対して周りが思い込むのはよくないと思った。障がいによって何もできないとか、かわいそうだからやさしくすべきだとか、それは、平等に接するどころか、障がいのある人を自分より下に見てしまっていると感じた。本当に平等に接するとはどういうことか教えてくれた。

○福祉体験をした。車いすは少しの段差でもとても力が必要だった。下り坂では滑ることもあると思った。だれかが車いすを押してくれると楽しかった。アイマスク体験では、とても怖かった。どこにいるかわからないし、声をかけられてもとても不安だった。これから、助けたり、少しでも役に立とうとすることは、だれかを安心させることができると気付いた。



## <保護者のみなさまへ>

1月15日(水)「あわ文化検定」、16日(木)「高校入試制度について知る」、23日(木)「身近な職業について知り、自分の将来を考える」、31日(金)「福祉体験を通して安全で的確なサポートの仕方を学ぶ」に取り組みました。

2月には、12日(水)基礎学力テスト、17日(月)～19日(水)学年末テストと1年間でもとても大切なテストが続きます。子どもたちの健康管理等に気を配っていただき、応援してほしいと思います。

また平和学習で「沖縄の地上戦、広島・長崎の原爆、徳島大空襲、ホロコースト」について学習を深め、自分の考えをもち、5月の修学旅行を盛り多いものにする準備を進めていきます。